

学校だより

令和2年度 第2回学校評価臨時号
 京都市立鞍馬小学校
 校長 日吉 肇
 〒601-1111 京都市左京区鞍馬本町632
 TEL 741-2006 FAX 741-2174

<http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/kurama-s>

厳寒の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。さて、3学期に入り第2回の学校アンケートを実施しました結果について、ご報告いたします。

2学期当初にいただいた、児童・保護者・教職員のアンケート結果と比較して、分析いたしました。新型コロナウイルス感染拡大防止を最優先に行つた結果、子どもたちは今までとは違った日常を過ごすことになりました。この一年間を生かし、来年度も、より良い教育活動を続けていきます。

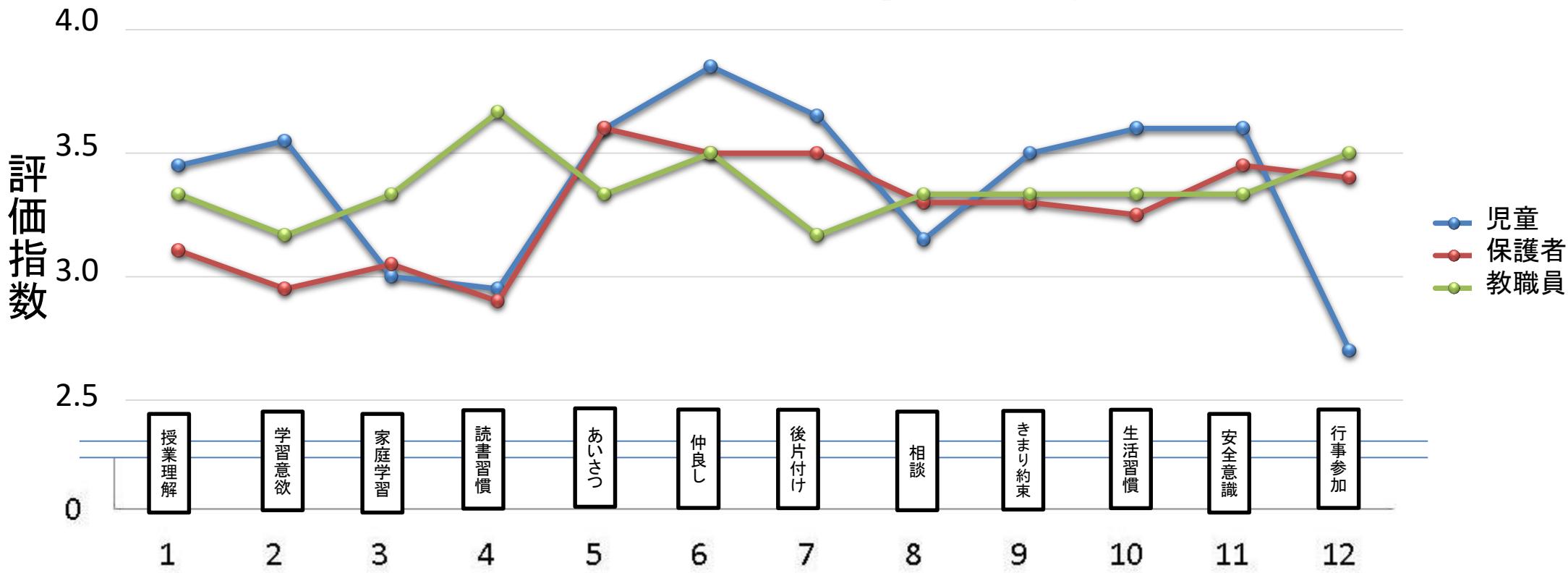
「よりよい学校にするために」アンケート項目とその結果 令和3年2月

番号	児童	第1回 結果	第2回 結果	番号	保護者	第1回 結果	第2回 結果	番号	教職員	第1回 結果	第2回 結果
①	授業が分かりやすいですか	3.3	3.5	①	わが子は授業がわかりやすいといっている	3.0	3.1	①	基礎・基本の定着を図る工夫を実践している	3.2	3.3
②	授業・学習にがんばって取り組んでいますか	3.5	3.6	②	わが子は意欲的に学習に取り組んでいる	3.1	3.0	②	意欲を引き出す授業の実践をしている	3.0	3.2
③	家で自分から進んで宿題をしていますか(1年・2年) 家で自分から進んで予習・復習などの自主勉強をしていますか(3年以上)	3.1	3.0	③	わが家では、家庭学習の習慣が定着するよう働きかけている	3.1	3.1	③	家庭学習の習慣を身につける実践をしている	3.2	3.3
④	本をよく読んでいますか	3.0	3.0	④	わが家では読み聞かせをしたり、読書をうながしたりしている	2.8	2.9	④	読書の習慣化を働きかけている	3.7	3.7
⑤	自分から進んであいさつをしていますか	3.4	3.6	⑤	わが家では進んであいさつするようにしている	3.6	3.6	⑤	あいさつができるように働きかけている	3.5	3.3
⑥	友達を大切にし、仲良くしていますか	3.8	3.9	⑥	わが家では友達を大切にし、仲良くするよう声かけをしている	3.6	3.5	⑥	仲良くできる学級作りに取り組んでいる	3.5	3.5
⑦	物を大切にし、使った物はもとの場所にもどしていますか	3.6	3.7	⑦	わが家では物を大切にし、後始末をするように働きかけている	3.3	3.5	⑦	後始末をするように働きかけている	3.3	3.2
⑧	困った事は先生や家族に相談していますか	3.1	3.2	⑧	わが家では子どもが話やすい雰囲気を作るようしている	3.3	3.3	⑧	話を丁寧に聞くようにしている	3.3	3.3
⑨	学校やクラスのきまりを守る事ができますか	3.7	3.5	⑨	わが家では子どもがきまりや約束を守って学校生活を送るように声かけをしている	3.3	3.3	⑨	きまりや約束を守るように働きかけている	3.5	3.3
⑩	早寝・早起きをし、朝ご飯を食べて学校に来ていますか	3.6	3.6	⑩	子どもに早寝・早起きをさせ、朝ご飯を食べさせ学校に送り出している	3.3	3.3	⑩	望ましい生活習慣を実践できるように働きかけている	3.3	3.3
⑪	学校でも地域でも安全に気をつけて行動していますか	3.7	3.6	⑪	子どもが安全に気をつけて行動できるように声かけをしている	3.5	3.5	⑪	安全に行動できるように働きかけている	3.3	3.3
⑫	地域のお祭りやPTAの行事などに、よく参加していますか	3.4	2.7	⑫	わが家では、学校・PTA行事や地域の行事などに積極的に参加している	3.4	3.4	⑫	地域・PTA行事に参加するように働きかけている	3.5	3.5
⑬	△			⑬	わが家では各種たよりやホームページで学校の様子を知ろうとしている	3.2	3.3	⑬	学級たよりややホームページで学校の様子を伝えている	3.0	2.8
⑭	△			⑭	△			⑭	いじめ防止について組織対応に努めている	2.7	2.3
⑮	△			⑮	△			⑮	保護者の相談内容を共有している	3.5	3.3

◇分析・考察 ……(評価方法は、各項目ごとに4点・3点・2点・1点で記入。)

評価指数は、『3.0』を概ね良好として判断しています。(「4~1」の指数の中間は、「2.5」であるが「4~1」の段階の指数上の性格から、各項目ごとの総指数の平均指数が『3.0』を下回る結果は、課題と見られる「2.0」を含む場合があることによると考えます。)

「よりよい学校にするために」アンケート結果



成果と課題

- * 4. **読書習慣**…保護者の方から「もっと本気で親も取り組まなければいけない」というご意見をいただいています。第1回のアンケートの結果から、子どもたちのご家庭での読書の習慣を身に着ける取組に、力を注いでいただいてきたことがうかがわれます。保護者の方の評価指数が第1回が2.8、第2回が2.9とはわずかですが、地道な積上げを大切にいきたいと考えています。学校図書館や移動図書館(こじか文庫)の利用も、子どもたちの読書習慣の定着に役立っていることと手ごたえを感じています。ご家庭でも、短時間でも読書に親しむ時間を皆さんでとっていただくことができればと考えています。
- * 6. **良好な友人関係**…この1年間、高学年の子どもたちが、学年を超えてみんなをうまくまとめてくれました。中間休みの「みんな遊び」が終わって帰ってくるとき、「面白かった」と満足げな顔を見せてくれます。このような姿が、学習の中でもお互いを認め合い高めあう、少人数を生かした集団作りにつながっています。教職員は何か困ったことが起こっていないか、常にアンテナを張って指導に当たるようにしています。中学校に進学しても、しっかり自立した人間関係が築けるように、引き続き支援をしていきたいと考えています。
- * 8. **子どもが相談できる場づくり**…教職員は、可能な限り、朝休み・中間休み・昼休みなど、子どもたちと一緒に遊んだり、見守ったりしています。児童・保護者・教職員ともに、第1回目と評価指数はほとんど変わっていませんが、いざというときお話を聞いてもらえる存在であることを大切にしています。ご家庭では、お家の方が休校中から今日に至るまで役割を果たしていただきありがとうございます。学校では「先生と話そう週間」で、ちょっと改まった場として、担任の先生とお話ができるることを子どもたちに知ってもらえる良い機会を持ちました。これからも、日常の取組を積み上げていきたいと思います。
- * 12. **地域・PTAの行事への参加**…今年度は、毎年楽しみにしていた「こいのぼりの会」や「区民運動会」などの行事がなく、参加したくてもできなかったという思いが子どもたちにあったようです。しかし今年度も、学校に来ていただいている「学びの先生方」や、地域へ出かけていろいろなことを教えていただいている「地域の先生方」を通して、多くの学びをさせていただいている。コロナ禍の中、今後は地域行事への参加の形態は変わると思いますが、引き続き鞍馬校教育にお力添えをお願いいたします。
- * 全体を通して…第1回目のアンケートの傾向と、大きくは変わらなかったと感じられます。コロナ禍がすぐに収束する気配がないことを考えると、今まで以上に、学校での学習と家庭での学習の連携が大切になります。もちろん生活全般にわたってのことについても同様です。「コロナ禍で参加できる行事が少なくて残念です。」というご意見もありますが、新しい生活様式の中で変わりゆく学校を保護者の方と支えていきたいと思います。来年度も、ご支援をお願いいたします。